



Title	2024年度 意匠学会作品賞・作品奨励賞選考結果報告
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2025, 86, p. 2-3
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102487
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2024 年度 意匠学会作品賞・作品奨励賞 選考結果報告

学会賞選考委員会
委員長 伊原久裕

作品賞

受賞者

塙田 章

受賞作品

「源氏香図パターン・ジェネレーターの開発」

選考理由

本作品は、日本の伝統文化である香道で用いられている源氏香図に着目し、パズルのように容易に生成できる仕組みを考案、ツールとして開発したものである。制作にあたり図のパターンを立体構造として解析した点がプロダクトデザインとして独創的であり、また展示された作品は紙カードとして美しくまとめられており、ユーザーの趣向に応えるものとなっている。以上に加えて、本作品は制作者の 20 年にわたる息の長いプロジェクトの所産であること、また、プロダクトデザインのみならず、グラフィックデザインの要素も含むジャンル横断的な総合的デザインであることからも、本作品が高く評価された。

作品奨励賞

受賞者

小鶴紀子

受賞作品

「DIAMOND SHAKE」

選考理由

選考対象の作品の中で、次点作として小鶴氏の作品が高く評価された。本作品は日本のロックミュージシャンを対象としたドキュメンタリー映像作品であるが、制作者はそこに「物語性」、「多層時間モデル」を導入することで作品のデザイン性を高めたとする。特に後者の多層時間モデルは制作者がデザイン研究の枠組みで探求した独創的手法であり、しかも過去5年にわたる意匠学会大会で発表された内容を活用した成果であることからも高く評価された。

選考経緯

作品賞審査にあたり、大会に出席した学会賞委員のうち指導学生が出品している佐藤博一委員を除く、今井美樹、石川義宗、村井陽平、伊原久裕の各委員、ならびに役員会において承認された多田羅景太の5名で審査にあたった。審査は、大会での作品発表後、各自で順位づけを含む講評紙を作成し、9月3日10時30分から1時間程度、講評に基づきオンラインにて総合審査を実施した。

作品賞については、選考委員5名全員が塙田氏の作品を第一候補で高く評価しており、協議の結果、全員一致で決まった。作品奨励賞については、今回が最初の機会であることから、まず、奨励賞の趣旨について事前に確認を行った。奨励賞の趣旨は、主に学生を対象とするものの、必ずしも絶対条件ではなく、若手研究者をもその対象に含めて、幅広くその将来性を評価することにあるとした。この趣旨に照らして発表作品を改めて検討した結果、次点として評価されていた小鶴氏を奨励賞とすることで全員の一致が得られた。

なお、2024年度の作品発表は数としては6点ではあったが、発表された作品はいずれも質が高くバラエティがあり、今後の作品発表の充実を期待させる内容であったことを付記しておきたい。